

6 若い父親と2人きり。介護する息子たち。(1月1日)

7 聞いではいい。受け止められるのは他人。(1月3日)

8 最期に人とつながった。一人の男性の死。(1月4日)

9 ひきこもりの長期化、追い詰められる家族。(1月5日)

10 ネットの救いと牙。若者の自殺中絶の波紋。(1月6日)

11 妻との死別や離婚。喪失感は消えなくても。(1月7日)

つながり作る

「孤族」の概念が、世に知られるようになったのは、2007年11月、NHKのテレビ番組「孤族」が放送されたことだ。この番組は、孤族の現状を伝えるだけでなく、孤族の生活の一端を垣間見ることができた。孤族とは、家族がいない、あるいは家族がいても、経済的に自立できず、生活が成り立たない状態にある人を指す。孤族の数は、年々増加している。孤族の生活は、どのようなものだろうか。孤族の生活の一端を垣間見ることができた。孤族の生活は、どのようなものだろうか。孤族の生活は、どのようなものだろうか。

まず、あいさつから／ネットで救われた



1月7日付、連載の11目目に登場した、伴侶を亡くした人たちの会「寂まなせロン」。忘年会では、肩を組んで盛り合う男性たちの姿があった＝東京都新宿区、仙波環境影

「孤立死、あなたは大丈夫？」

孤立度チェック

- 食事はコンビニ弁当やインスタント食品だ
- 本や雑誌を床に積み上げている
- 隣の部屋に誰が住んでいるか知らない
- 1日5時間以上、自宅でソノコをしている
- 自宅一人で飲む酒が好きだ
- 5年以上ひとり暮らしをしている
- 実家に1年以上帰っていないが連絡はない
- 奥さん(旦那さん)が亡くなってから思っている
- 自車に壊れた電子部品や電器部品がある
- けんかをして仲直りせず、放置したままの友達がいる
- たまに冷蔵庫の中の食品を腐らせてしまうことがある
- どちらかと言うと子供は好きじゃない

香田大一著「孤立死、あなたは大丈夫ですか?」(扶桑社)から一部抜粋

孤族だけど、ひとりじゃない 社会グループ次長・真鍋弘樹

「日本に帰ると冷たさ思い知る」

インターネットで配信された記事は、海外に住む日本人にも読まれ、日本の現状に対する思いが寄せられた。米田に住む田中美香さん(50)は「日本を出て20年たちました。年々、日本の現状が目にうつり、今後のケアをどうしようかと考えるなかで連載を眺めました。ひとつととは思えません」と語った。イタリアに住む瀧口佐知子さん(57)は4年前に亡くなった父を見舞った時について「海外から帰った時を訪問するたびに、病室にいるお年寄りたちの姿から、支えてくれる思いがけないことを感じ、胸がよさがれる思いでした。孤族の国にはひとのぬくもりが消えてしまっているのです」と振り返る。「寂しい思いをしてる人のために何かしたい」と思い、小さな折ひ鶴を作り出した。折ひ鶴を作っている。折ひ鶴を作っている。折ひ鶴を作っている。

「無縁」でなく「無援」

香田大一著「無縁」

「孤族」の概念が、世に知られるようになったのは、2007年11月、NHKのテレビ番組「孤族」が放送されたことだ。この番組は、孤族の現状を伝えるだけでなく、孤族の生活の一端を垣間見ることができた。孤族とは、家族がいない、あるいは家族がいても、経済的に自立できず、生活が成り立たない状態にある人を指す。孤族の数は、年々増加している。孤族の生活は、どのようなものだろうか。孤族の生活の一端を垣間見ることができた。孤族の生活は、どのようなものだろうか。孤族の生活は、どのようなものだろうか。

居場所 孤族の現状を伝えるだけでなく、孤族の生活の一端を垣間見ることができた。孤族とは、家族がいない、あるいは家族がいても、経済的に自立できず、生活が成り立たない状態にある人を指す。孤族の数は、年々増加している。孤族の生活は、どのようなものだろうか。孤族の生活の一端を垣間見ることができた。孤族の生活は、どのようなものだろうか。孤族の生活は、どのようなものだろうか。